

平成 26 年度 第 1 回 「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議議事録

平成 26 年 6 月 5 日(木)
15 時 30 分～17 時
場所：本部 小会議室

出席者：辻伊勢市企画調整課長・大西伊勢市企画調整課係長・太田伊勢市企画調整課
上村鳥羽市企画財政課長・下村志摩市企画政策課長・見並玉城町総務課長補佐（総務課
長代理出席）中井度会町政策調整室長・生駒大紀町企画調整課長
齋藤教育開発センター長・笠原現代日本社会学部教授・筒井現代日本社会学部教授
板井現代日本社会学部准教授・橋本地域連携推進担当課長

欠席者：小山南伊勢町行政経営課長・中谷明和町防災企画課長・木村企画部長

<要 旨>

1. 「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる地域人材育成の概要について

齋藤教育開発センター長より 4 月に文部科学省に申請した平成 26 年度「地（知）の拠点整備事業」の書面審査結果通知が当初の予定より遅れていることが報告された。続いて申請書に基づき「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる地域人材育成の概要について説明があった。

本事業では、伊勢志摩圏域の 3 市 5 町が参画する「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」（平成 26 年 6 月策定予定）の課題を踏まえ、圏域の歴史文化観光資源、自然環境定住資源、地域経済・産業等を活かした総合学修プログラム『伊勢志摩定住自立圏共生学』（4 科目）を開発する。ここでは、学部学生が主体的に地域資源や圏域の現況と課題を学び、その中で圏域内自治体職員や職業人と協働して、新事業創出（6 次産業化）の方法等について学修できる新たな教育課程の構築をめざす。

また、基盤的学修となる現在の 1 年次全学必修「伊勢学」を改善し、圏域の資源や課題を学ぶ全学必修「伊勢志摩共生学」（2 単位）に拡充する。

さらに「地域課題学修支援室」を整備し、圏域をフィールドにした実習科目（1 単位）の新設実施、および、各学科専門科目と圏域の課題解決学修の総合化を図る「プロジェクト研究 I・II」（4 単位×2/3・4 年次）を開設する計画である。

計画にあたり、

- ・地域を活用しながら学生を育てる人材育成プログラムとして実施。地域の課題を主体的に考える思考力を身に付けさせたい。作成に当たっては、自治体と意見交換を行う。
- ・成果を 4 科目の授業として実施。1 科目以上を全員に受講させる。より深い学び、地域で育てて頂く科目として設置。
- ・平成 26 年度「地（知）の拠点整備事業」に不採択でも規模を縮小して実施。
- ・全国から 237 件の申請があり、採択見込み件数は 20 件程度である。三重県内は、昨年度採択校がなかった。今年度、皇學館大学のほか、三重大、四日市大学、鈴鹿国際大学と鈴鹿短期大学の共同申請が申請を行っている。

こと等が報告された。

審議の結果、異議なく 3 市 5 町と皇學館大学が協力して同プログラムを推進していくことが了承された。

2. 「伊勢志摩定住自立圏共生学」運営会議規程(案)について

齋藤教育開発センター長より資料に基づき説明があった。

審議の結果、

- ・第4条2項の「第4号及び第5号」を「第2号」に修正。
- ・第5条4項の「及び第3号」を削除。
- ・第5条5項の「及び第3号」を削除、同じく5項の「当該自治体等のより」の「の」と「適切な体担当者を」の「体」を削除。
- ・第6条の「運絵会議を」を「運営会議を」に修正。

以上の修正を踏まえ、皇學館大学COC実施本部で諮ることが確認された。

次に橋本地域連携推進担当課長より、運営会議規程(案)第4条第2号連携する自治体の長が推薦する当該自治体職員について、本来であれば、本学より市町の長に推薦の依頼をさせて頂く事項であるが、定住自立圏調整会議構成員を元に運営会議委員を構成されていることから、各課長様に委嘱させていただきたい。会議日程、開催回数については、採択の状況にもよるが、申請書には、10回程度の会議の開催を明記していることから、今後調整をしながらお願いしたい。

審議の結果、異議なく了承された。

3. その他

質疑応答

(問) 申請書では初年次に10回の運営会議を開くことになっているが、集まらなければならないということか。

(答) 計画を実施するための打合せを含めての回数になっている。毎回、すべての委員の方にお越し頂くということではない。

(問) 市町からの財政的負担があるか。

(答) 市町には負担をお願いすることになるが、具体的な金額による財政的な負担ではなく、本日こうしてお集まり頂いているような人的負担を考えている。

(問) 6次産業化という具体的な取組みであれば企画関係部局ではなく、産業関係の部局担当者が委員になるほうがよいのではないか。

(答) 6次産業化を中心に考えているが、学生の教育を考えたとき、幅広いチャンネルをお持ちの企画関係部局の方に委員をお願いしたい。

*次回日程：8月頃を予定。